

# トップの推進力と 身近なロールモデルで実現する

## 働き方改革

丸尾興商株式会社の取り組み

島田市に本社を構え、管工機材・

機械工具や住宅設備機器の卸業で  
県内トップシェアを誇る「丸尾興商  
株式会社」。同社では、独自の制  
度と取り組みで子育て支援・女性  
活躍を推進しており、ふじのくに  
女性活躍応援会議にも参加してい  
ます。経営企画部の村松華奈さん  
と特販事業部の新谷薫さんに話を  
聞きました。



新谷さん 育休の様子

現」の声かけが徐々に社員に浸透し  
たのだと思います。

**村松** 社員の男女比は約半々です。  
男女共に育休取得率は100%。男性  
社員の育休促進のため、男性社員に  
は連続5日以上取得することで5万  
円の報奨金を支給しています。その  
際に提出を義務付けている画像付き  
レポートは、事前に許可をもらった  
上で会社のホームページに掲載してい  
ます。子育てに関する制度の導入時  
には、育休取得を言い出しにくい雰  
囲気や、サポート体制の理解不足が  
あったと聞いています。社長をはじめ  
取締役たちの「男女共同参画実

**新谷** 私は昨年、息子が3か月のタ  
イミングで育休を取得しました。平  
日昼間の妻の育児の大変さを知った  
ことで、育児を「手伝う」という認  
識を改めさせられました。レポート  
がホームページに掲載されることで  
お客様にも制度を知ってもらえ、育  
休中の担当者の変更なども理解して  
いただけています。

**村松** 他にも当社では、小学校就  
学前の子どもがいる社員を対象にし  
た「ゆとり時短制度」や、結婚や  
出産、配偶者の転勤により退職し  
た人が復職できる「カムバック制度」

などを設けています。このような制  
度ができた背景には、定期的に行う  
全社員へのアンケートや、社長室が  
なくトップや取締役に直接相談でき  
るなど、社員の声がトップに届きや  
すい社風があります。制度を利用し  
たことのある社員が身近にいること  
も、制度の浸透や利用率の高さにつ  
ながっているのだと思います。

**新谷** 私も取締役に出産の報告に  
行った時に「育休取るの？」と声を  
かけてもらえたことで言い出しやす  
かったです。他の人の育休レポート  
を読むことで、育児や制度について  
関心を持つようになり、聞き  
やすくなったりしました。

**村松** 女性でリーダー職に  
就く人数が少しずつ増えてきて  
います。女性や子育てして  
いる人が働きやすい環境づく  
りは、男性や他の社員の離  
職率やメンタル不調者の減少  
にもつながり、全社員のワー  
クライフバランスにも良い影  
響を与えていると思います。

**新谷** 私は就職活動時に会  
社比較をし、男性の育休制度  
や働きやすさに魅力を感じ入  
社意欲が高まりました。採用



平成30年「2018年認定くるみん」「プラチナくるみん」取得  
ほか令和3年度静岡県「ふじのくに子育てに優しい企業」受賞

の面でも効果があると思います。  
**村松** 近年では社員の声から、イン  
フルエンザ予防ワクチン接種の費用  
を会社で負担し始めました。婦人科  
検診費用の一部負担なども検討を始  
めています。今後も社員の声を収集  
した上で、個々のニーズに合わせな  
がら、働きやすい制度や環境づく  
りを進めていきたいと思っています。

●ふじのくに女性活躍応援会議  
<https://www.azarea-navi.jp/joseikatsuyaku/>

●丸尾興商株式会社 <https://www.maruo.ne.jp/>  
●育児休業レポートほか働き方改革と健康経営について  
<https://www.maruo.ne.jp/sustainability/work-style/child-care/>

# 教えて つるたまさん!



## 緊急避妊薬をめぐる性教育の課題

2023年11月、意図しない妊娠を防ぐ「緊急避妊薬（※1）」について、医師の処方がなくとも薬局の店頭で適正に販売できるか調べる試験販売（※2）が始まりました。そこで今回は、性被害や妊娠不安にまつわる課題に取り組む活動を続けている「一般社団法人ソウレッジ」の代表、鶴田七瀬さん（以下つるたまさん）に、性をめぐる社会や環境の変化について聞きました。



鶴田七瀬（つるたまなせ）さん

2018年、日本で性教育を行うNPO法人でインターンをしたのち、文科省トビタテ留学ジャパン日本代表として、性教育を積極的に行う国の教育・医療・福祉などの施設を30か所以上訪問。2019年、帰国後に性や妊娠にまつわる課題解決のため一般社団法人ソウレッジを創業。2020年、NPOが共同運営する子ども宅食などと連携し、性教育教材の寄付を実施。2021年、Forbes 30 under 30 2021「日本発、世界を変える30歳未満の30人」受賞。2022年には、緊急避妊薬の無償化と性知識を届ける仕組みを作るため、2,363人から21,823,388円を集め、CAMPFIRE寄付型クラウドファンディングでの過去最高額・過去最高支援者数を記録。  
1995年生まれ。掛川市出身。

### ソウレッジ設立 性教育×起業

小さい頃から、家庭の中の「女性は家事をするべき」「男性は外で働くべき」などという役割割（ジェンダーロール）に違和感があったと話すつるたまさん。大学進学にあたり親元を離れ、その価値観から距離を取ることができました。しかし、自身も通っていた大学の学生が妊娠し、一人で出産。その後死亡した赤ちゃんを遺棄した死体遺棄事件（※3）のニュースに衝撃を受けました。

「赤ちゃんを産んだ女子学生は逮捕されたのに、妊娠に関係した男性は捕まらない。ジェンダーロールと性犯罪は切り離せないものだと思います」そこから性教育に関心を持つたつるたまさん。起業しようと思っただけで、大学時代に受けたパワハラがきっかけだと明かす。「大学に通えなくなってしまう。『適応障害』です。そうなる一般的な大学生が描く、卒業から就職という道が見えなくなり、これからどうやって生きて行こうか考えた時に『起業』という答えが出てきました。性教育への関心と起業の思いがかけ合わさってソ

ウレッジ設立に結び付きました」

### 三つの柱と「おひさまプロジェクト」

創業から三つの柱を軸に事業を展開してきたソウレッジ。一つ目は、性被害が発生しないための知識を普及する取り組み。二つ目は、性被害が起こった後にセカンドレイプが発生しないようにするための取り組み。そして三つ目が現在力を入れている「誰もが避妊を選択できる」ための取り組み。これが24才以下の若者に緊急避妊薬の無償提供を行う「おひさまプロジェクト」です。

「このプロジェクトの広報を始めたのは2021年。活動をスタートさせたのが2022年11月からです」と話すつるたまさん。プロジェクトのきっかけは、最初の二つの活動で性教育に関して困っている人がたくさんいることを知ったから。「(前述の)事件の学生は看護学部生で、性について学んでいたはずなのに事件が起きてしまった。事件に至るには性の知識だけではない、何かが不足しているのだと気づきました。頼れる人がいなかったことや、経済的な



問題が背景にあったのではと考えました」

そこから緊急避妊薬の重要性、避妊薬の価格の問題、知識やサポートの環境などをつくる『おひさまプロジェクト』を計画し、本格的に活動をスタートさせました。

### 主体的な人生の選択 望まない妊娠を防ぐ最後の砦

「性暴力被害や、恋人による避妊具着用の拒否などで望まない妊娠をして、進学や夢を諦める若者がいます。現在の日本では避妊方法が限られ、妊娠を予防する緊急避妊薬へのアクセスが難しく、避妊薬が高額で若者が買えないなどの問題があります。そこで『おひさまプロジェクト』では、緊急避妊薬の無償提供をきっかけに若者と繋がり、福祉情報と性知識を届ける仕組みをつくりました。現在、関東首都圏を中心に21の病院と提携しています。支援が必要な若者が提携病院で診察を受ける」と、『おひさまライン』への登録を条件に、避妊薬を無償で受け取れます。今後は市区町村や企業と連携して無償化の事例を増やし、国での無償

化実現を目指しています」

ソウレッジが目指す「おひさまプロジェクト」の最終目標は、妊娠する可能性がある人が自分で避妊できる環境をつくること。誰もが人生を主体的に選択し、安心して暮らせる社会の実現です。提携団体や活動エリアも少しずつ広がっています。

### 身近にある性暴力を知り 国を動かす大きな力へ

「プロジェクトを拡大していくためには、多くの人に『自分ごと』としてとらえてもらう必要があります。性暴力、性被害は遠い世界や都会の限られた繁華街だけの問題ではなく、私たちの身近にあるのだと気づくことが大切です。私自身も被害に遭いそうになったことがあります。私のように性教育、緊急避妊薬を届ける活動をしている人がいるのだということを知ってもらって、『自分も何か力になりたい』という人が増えればいいと思います。制度を変えられるような大きな行動ではなく、ボランティアに参加してみたり、活動団体へ寄付をして（お金を託して）代わりに活動してもらおうであったり、

一人ひとりができることから始めて、活動に関わってもらえればと思っています」

今後は現在の非営利団体の活動に加え、株式会社を設立しビジネスの観点からも性教育・緊急避妊薬の問題に取り組み、二つの活動でそれぞれに適切なアプローチをしていきたいというつもるたまさん。より大きな自治体や国をも動かし、目指す社会の実現のために、一人でも多くの人にこの活動の意義を伝え、連携してくれる病院や薬局、企業や自治体を増やす努力を続けます。

※1 「緊急避妊薬」は、避妊の失敗や性暴力などによる意図しない妊娠を防ぐための薬で、性行為から72時間以内に服用すれば妊娠を一定程度防ぐことができます。

※2 緊急避妊薬の購入には医師の処方が必要ですが、全国145の薬局で試験的に販売を始めました。薬局での販売価格は7千円から9千円程度。購入できるのは、調査研究への参加に同意した16歳以上に限られ、16歳以上18歳未満の人は保護者の同意が必要になります。また、16歳未満の人に対しては薬局が本人の了解を得た上で産婦人科医や「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」を紹介することができます。

※3 2017年、乳児の遺体をポリ袋に入れて放置したとして死体遺棄罪に問われた事件。被告は有罪の判決を受けた。

一般社団法人ソウレッジの活動をもっと知りたい方はホームページをご覧ください

<https://sowledge.org/>



「おひさまプロジェクト」は  
2024年3月末をもって  
第一弾が終了します。

# 令和6年度 男女共同参画の今を知る情報誌 「ねっとわあく」編集員募集

静岡の男女共同参画やジェンダーについての情報誌をつくってみませんか？  
研修、編集会議、取材をとおして男女共同参画の知識や理解を深め、あなたの  
の記事で静岡の男女共同参画の今を発信しましょう。

## これまでに取り上げたテーマ

アンコンシャスバイアス、女性の起業、働き方、ワーク・ライフ・バランス、防災、おひとり様、夫婦別姓、制服選択制、LGBTQ(性の多様性)、共働き夫婦の家事と育児、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ など

※「ねっとわあく」は静岡県の市役所・町役場や図書館ほかで配架しています

※バックナンバーはあざれあ図書室やWEBサイト「あざれあナビ」でお読みいただけます

## 仕事内容

「ねっとわあく」(年1~2回発行)の、編集会議(企画立案ほか)、取材、原稿の作成・編集、発送

※編集会議の前に男女共同参画を学ぶ研修を行う予定です

## 応募条件

- ジェンダー問題に関心があり、男女共同参画の視点から企画を立てられること
- インターネットに接続されているパソコン環境が自宅にあり、メール送受信が可能であること
- ワード等を使って文章作成ができること(校正など文章作成は職員がサポートします)
- 静岡県内在住で、研修・編集会議・発送作業に参加できること

※編集会議は、原則あざれあで平日昼に年10回程度実施予定

※会議は1回につきおおよそ3時間の予定/時間帯や実施形態(オンライン)等変更の可能性有

※会議等の日程は編集員のスケジュールを確認し、その都度決定/初回(顔合わせ等)は4月下旬頃に実施予定

※ねっとわあくバックナンバーを必ずお読みいただいたうえで御応募ください。

**任 期** 令和6年4月頃~令和7年3月

**募集人数** 若干名(県内全域から募集)

**謝 金** 会議実施の際に薄謝をお支払いします。 ※別途、会議や取材などの交通費を支給

**応募方法** 応募用紙と課題作文をメールでお送りください。

※応募用紙はWEBサイト「あざれあナビ」の「ねっとわあく編集員募集ページ」からダウンロードしてください。

### ● 課題作文

以下のキーワードを参考に「あなたが考える男女共同参画の課題」についてお書きください  
(1,000文字以内)

女らしさ、男らしさ、アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)、家庭、結婚、家事、出産、育児、介護、老後、おひとり様、地域、防災、女性活躍、政治、職場、雇用、起業、氷河期世代、非正規雇用、パートナーシップ宣誓制度、LGBTQ(性の多様性)、選択的夫婦別姓、学校生活、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、性教育、ルッキズム、ジェンダーギャップ指数、SDGs、国際問題、多文化共生、人権

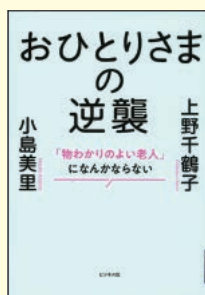
## 応募締切

**令和6年3月31日(日)必着**



※内容が変更となる場合があります。あらかじめ御了承ください。※ほか詳細はWEBサイト「あざれあナビ」を御確認ください。

# あざれあ図書室にあるおすすめの本を紹介します!



『おひとりさまの逆襲:「物わりのよい老人」になんかならない』  
(上野千鶴子・小島美里  
ビジネス社 2023年)

団塊世代が、全員75歳以上の「後期高齢者」となり、医療・介護に大きな負担をかけるとされる「2025年問題」と2000年に導入された介護保険制度がもたらしたメリットとデメリット。これらを軸に、自分らしい老後・最期とは何か、討論は続きます。



『多様性って何ですか?: SDGs、ESG経営に必須! D&I、ジェンダー平等入門』  
(羽生祥子 日経BP 2022年)

「多様性」「ダイバーシティ」という言葉を耳にすることが多くなりました。会社・組織の中での多様性とは、どんなものか。経営にどんな影響があるのか。企業内のジェンダー平等入門編として解説しています。



『なぜ男女の賃金に格差があるのか: 女性の生き方の経済学』  
(クラウディア・ゴールドティン  
慶應義塾大学出版会 2023年)

賃金に限らず男女の格差問題は、いまでも継続しています。本書では、女性の結婚・妊娠・出産等がキャリアに与える影響の大きさ、家庭との両立の難しさを、100年分の問題と併せて、2023年ノーベル経済学賞受賞者が検証しています。

**利用案内**

貸出: 図書・雑誌10冊、ビデオ・DVD4本(3週間)

※貸出カードが必要です。現住所、生年月日を確認できる本人確認書類をお持ちのうえ、カウンターにてお申込みください。

開室時間: 平日9:00~18:00、土日祝 9:00~17:00 休室日: 第1・3・5日曜日、図書整理日、年末年始  
TEL: 054-255-8763 FAX: 054-255-8759

県民  
編集員の

## 編集後記

- ◆『人生は何か起こるかわからない』まさに実感した半年間でした。大学生の頃の自分に、今号を見せたいです。現代風に言えば、「推しに会えた」というやつですかね。サインももらって握手もしてもらいました! ばんざーい!!
- ◆のびしろという言葉、大好きです。なくてもどうにかになっているけれど、成長ゾーン。いろんな出来事に自分ののびしろを発見できるといいなあ。今号もいっぱい発見しました。
- ◆人間の脳は面白いそうです。「もうできない、無理」と思えばそれまでで、「何とかなる、大丈夫」と思えば何とかなるそうです(ほんとかなあ)。「のびしろ」って結局そんなところでしょうか? 自分や他人ののびしろを狭めるような発言には気を付けたいと思いました。
- ◆冊子編集にあたり、オンライン会議、校閲機能の使用などパソコンスキルがアップ。なにより、会議も含めて、さまざまな価値観を掘り下げる出会いがあった、この場に感謝。
- ◆1年間ありがとうございました! 知ることも動くことも大切だし、とても楽しい! と改めて実感。最近友人と「選択を迷っても、基本死なないし恐れることはない!」「なんなら明日死ぬかも!」な会話がありました。元気に力強く生きます! よ〜し! やってみよう!!





各種相談・講座イベント情報は「あざれあナビ」をご覧ください。

<https://www.azarea-navi.jp/>

静岡県男女共同参画ポータルサイト  
あざれあナビ



あざれあナビSNS

静岡県くらし・環境部 県民生活局 男女共同参画課 より

ヘルス ライツ  
大切にしよう 自分の身体と権利

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ啓発パンフレット

(2024年2月発行)

企画・編集：一般社団法人 静岡県地域女性団体連絡協議会

リプロダクティブ・ヘルス/ライツという言葉を知っていますか？

こことからだの決定権は自分自分にあります。高校生、大学生など若い世代の皆さんに知っていただきたいSRHRに関する情報を紹介しています。

性教育、デートDV防止、プレコンセプションケアのセミナーなどでも御活用ください。



～男女共同参画の視点から～

みんなが共に支え助け合う防災ブック

(2024年3月発行予定)

地域防災の担い手である住民の皆さんが、性別や立場に関係なく、多様な視点を取り入れた避難所運営や、平時からの防災対策を行っていきけるよう、日ごろから取り組んでいただきたい内容をまとめました。防災訓練や自主防災組織での研修会など、様々な機会や場所で、この冊子を活用して、男女共同参画の視点に基づく防災活動を進めていただけると幸いです。



あざれあ女性相談



Tel.054-272-7879

女性が抱える様々な悩みについて、女性相談員が対応します。

- 電話相談
- DV その他暴力に関する相談 (予約制面接相談)

あざれあ男性電話相談



Tel.054-272-7880

生き方・家族・仕事・健康等の悩みについて、男性相談員が対応します。

ふじのくにLGBT電話相談



Tel.0120-279-585

性のあり方に関する悩みや困りごとについて、御本人のほか、家族、職場や学校関係者も相談できます。専門相談員による相談です。

[ふじのくにレインボーページ](#) 検索

交流会やセミナーなど性の多様性に関する情報を発信しています。



ねっとわあく

2024/3/15 Vol.81

「ねっとわあく」は年1～2回発行します。県内の男女共同参画センター、市町役場、図書館などの公共施設で配布しています。「ねっとわあく」のバックナンバーは、あざれあ図書室や静岡県男女共同参画ポータルサイト「あざれあナビ」で閲覧できます。あざれあナビ「ねっとわあく」掲載ページ <https://www.azarea-navi.jp/netwaaku/>



発行日/令和6年3月15日

企画・編集・発行/あざれあ交流会議グループ

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

TEL/054-250-8147 FAX/054-251-5085

編集員/工藤由佳 佐藤みゆき 杉浦恵里香

其田育子 玉木良汰

印刷/星光社印刷株式会社

